

かわねほんちよう

議会だより

第70号

令和5年5月発行

発行：川根本町議会
編集：議会広報委員会

令和5年度の当初予算編成の3本柱	2～3
令和5年度予算特別委員会審査報告	4～5
第一・第二常任委員会審査報告	6
請願審査と議決について	7
議会が特に注目している4つのこと	8～9
一般質問	10～15
議員定数等特別委員会中間報告・6月の予定	16



川根本町議会

令和4年9月24日未明の台風15号の災害から半年が過ぎ、時の流れを感じる静かな沿線の駅。大井川鐵道のある日常が早く帰って来るように、議会も最善を尽くします。(令和5年4月 青部駅)

柱方針

一般会計予算 (前年度比24.8%増)

70億5,100万円

特別会計予算 **23億2,930万円**

3月定例会は、3月1日から24日まで開かれ令和5年度の当初予算をはじめ、条例の制定ならびに改正などを審査し、いずれも可決しました。

- 寸又峡プロムナードコース落石防護柵設置工事
2,503万6千円
- 孤立集落物資輸送実証事業
500万円
- 下泉下長尾簡易水道水源地調査(井戸水源地) 748万円
- E災害に強いまちづくり
安心安全で便利な生活**
(抜粋)
- 住民窓口デジタル化サービス向上の取組 887万1千円
- VRシステム活用事業(町有施設や空き家物件のPR)
31万7千円
- 常備消防業務委託(静岡市、島田市、牧之原市、川根本町、吉田町で構成し静岡市へ委託)
2億円
- 外出支援サービス車両更新事業
316万2千円
- 福祉人材育成事業(介護入門・初任者研修) 191万8千円
- 育児用品購入券支給事業
3歳まで(⑥6万円/1人) 442万円
- 地域医療機関医療機器購入事業
1,185万9千円



F 住み続けることへの支援

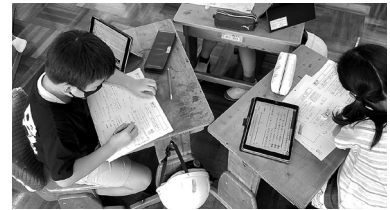
- 定住・移住推進事業(移住相談、お試し移住体験、空き家バンク等) 1,552万円
- 定住・移住促進家賃及び購入費補助金(新規) 360万円
- 定住・移住促進住宅改修費補助金 1,000万円
- 定住促進住宅建設事業費補助金 610万円



若者町営住宅
(地名区)

特色ある教育の推進

- 学校再編に伴う校舎改修等事業 3億298万3千円
- スクールバス運行管理事業 5,176万5千円
- 第2次ICT教育推進事業 4,651万2千円



ICT授業風景

- 若者交流センター等運営管理事業 1億1,222万5千円
- 公営塾指導管理事業 3,200万7千円
- 「徳山の盆踊」ユネスコ登録記念事業他 737万3千円



鹿ん舞

一般会計予算 歳入

(単位：千円)

区分	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	比較	
自主財源	町税	1,235,514	1,220,056	15,458
	分担金・負担金	14,062	12,982	1,080
	使用料・手数料	84,711	80,702	4,009
	繰入金	862,517	561,023	301,494
	繰越金	100,000	100,000	0
	その他	78,628	91,018	△ 12,390
	小計	2,375,432	2,065,781	309,651
依存財源	地方交付税	2,300,000	2,260,000	40,000
	国庫支出金	767,521	306,491	461,030
	県支出金	418,330	309,817	108,513
	町債	839,900	353,000	486,900
	その他	349,817	354,911	△ 5,094
小計	4,675,568	3,584,219	1,091,349	
歳入合計	7,051,000	5,650,000	1,401,000	

一般会計予算 歳出

(単位：千円)

区分	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	比較
議会費	66,718	70,314	△ 3,596
総務費	1,026,494	989,938	36,556
民生費	1,247,296	1,210,605	36,691
衛生費	580,254	669,919	△ 89,665
労働費	1,845	1,845	0
農林水産業費	505,676	408,775	96,901
商工費	370,765	321,013	49,752
土木費	432,021	317,846	114,175
消防費	296,538	311,235	△ 14,697
教育費	1,075,234	773,067	302,167
災害復旧費	890,408	10,155	880,253
公債費	542,751	550,288	△ 7,537
予備費	15,000	15,000	0
歳出合計	7,051,000	5,650,000	1,401,000

主要産業の
活性化

A観光の活性化

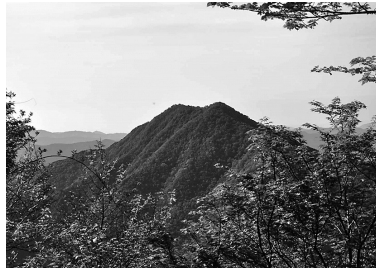
B農林業の活性化

A観光の活性化

- 春夏秋冬観光集客事業
3,400万円
・大札山、山犬段登山客輸送事業・大井川流域バスツアー他
- 大井川流域地域DMO負担金
1,600万円
- LINE電子クーポン事業
(9~10月初め迄2回)
2,375万6千円
- 奥大井湖上駅周辺景観伐採、レイクコテージウッドデッキ設置等工事
541万3千円



湖上駅コテージ
ウッドデッキ設置予定箇所



登山客輸送が計画されている大札山

B農林業の活性化(抜粋)

- 肥料価格高騰対策事業費補助金
495万円
- 茶製造機械長寿命化緊急対策事業
1,000万円
- 地域計画策定推進緊急対策事業
287万1千円
- 農地中間管理機構関連農地整備事業
525万円



植栽が完了した下泉原地区

- 森林経営管理制度事業
4,086万3千円
- 有用植物林床栽培検討事業
338万8千円



クロモジ サンショウ

安心・安全な
生活基盤

C災害復旧

D被災者支援・
生活再建

E災害に強い
まちづくり

C災害復旧

- 農道・林道・町道・河川復旧工事
8億4,319万1千円
- 林道 足間沢線、幡住線、穴水線 他
- 町道 梅高中央線、下泉河内川線、長松線、水川藤川線 他
- 河川 小河内川(下泉)

D被災者支援・生活再建
(抜粋)

- 家庭用ポータブル蓄電池等補助金
50万円
- 町営住宅空き部屋維持管理事業
411万5千円
- 町道・林道路面下空洞調査事業
900万円
- 農道八中線改良事業
6,141万5千円
- 黒薙崩治山事業(大札山手前)
490万円
- 接岨トンネル照明等改修事業
8,125万4千円



家庭用
ポータブル
蓄電池

令和5年度 5つの特別会計と令和5年度から移行した公営企業会計

(単位：千円)

特別会計	令和5年度	令和4年度	比較増減
国民健康保険事業	814,000	917,000	△ 103,000
後期高齢者医療事業	132,500	140,400	△ 7,900
介護保険事業	1,315,000	1,320,800	△ 5,800
訪問看護事業	17,500	12,900	4,600
いやしの里診療所事業	50,300	52,700	△ 2,400
計	2,329,300	2,443,800	△ 114,500

(単位：千円)

〈新〉 簡易水道 事業会計 (公営企業)		収入	支出
	収益的収支	174,587	246,306
	資本的収支	79,973	105,490
	計	254,560	351,796

※資本的収支で不足する額は、当年度分消費税資本的収支調整額、引継金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんする。

令和5年度予算 特別委員会審査報告



予算特別委員会の審査風景

(質疑応答の抜粋)

一般会計

農林課 (産業振興課)

問 みどりの食料システム戦略関連の推進策はどう考えているのか。

答 有機栽培茶は、病害虫に強い品種を推奨したい。有機農業への取り組みや販売展開など包括的アンケートも計画する。

問 森林環境譲与税事業は、森林管理の出来ない山整備が必要ではないか。

答 町内森林は広大で、まず、水源地を重点的に取り組んでいきたい。

会計課

問 土地開発基金の目的は。

答 公共用の土地取得を目的に設置している。

教育総務課

問 ICT教育先進地を維持して欲しいがどうか。

答 海外・県外の子供達との交流等、先進地の新しい取り組みを取り入れていきたい。

問 川根高寮費の光熱費賄の高騰はどう考えるか。

答 高騰が継続するようなら、寮費も検討しなくてはならないと考える。

建設課

問 地籍調査の計画は。

答 藤川地区は完了、今水川地区を進めている。大井川の右岸側を中心に進めていく。

企画課(経営戦略課)

問 青部駅周辺計画のパークブリックコメント後の状況は。

答 令和6年度で造成し、7年度利用策定を行う。

問 新設チャレンジ事業の内容は。

答 きっかけ作りで町内若者交流への補助である。

健康福祉課

問 社会福祉協議会の状況はどうか。

答 中川根デイサービスセンターの地域密着型通所事業への移行や、施設での給食提供体制の一元化による経費削減を予定している。

問 中川根デイサービスの通所者減の理由は。

答 他に様々なサービスが開始され、その事業所に通っていると考える。

問 町の医療体制はどう進めるのか。

答 町内医療機関と連携し医師と協議し、町の方向性を検討していく。

観光商工課(観光交流課)

問 今後のユネスコエコパーク推進の方針をどう考えるか。

答 人材育成・資金確保などエコティかわねと共同で対応していく。

問 大井川流域DMOは事業内容が島田寄りです。町メイン企画も考えるべきではないか。

答 今後の対応に生かしていく。

高齢者福祉課

問 現在のいきいきクラブの状況はどうか。

答 現在8クラブの活動支援をしている。



下泉原地区農地整備事業



中川根デイサービスセンター

予算特別委員会は、議長を除く全議員を委員とし、澤西委員長、石山副委員長を選任、令和5年3月3日から15日の間の6日間集中審査を行いました。

最終日に委員会採決を行い、一般会計・国民健康保険特別会計・簡易水道事業会計予算は、賛否が分かれ賛成多数で可決。後期高齢者医療・介護保険・訪問看護・いやしの里診療所特別会計予算は、全員賛成で可決されました。

※(ハ)内は新しい課名

問 在宅介護サービスが増加し、施設介護が減少傾向の理由は何か。

答 老人保健施設利用が減少した事、高齢者の施設入所しない人が増加したことによる。

情報政策課 (デジタル推進課)

問 ドローンの研修を計画しているが、対象は。

答 役場職員・消防団・事業所職員等である。

問 かねてフォンの維持管理をどうするか。

税務住民課

問 マイナンバーカード交付率は。

答 2月末現在で68%である。

問 マイナンバーカード活用例は。

答 本人確認・健康保険証・コンビニ交付・電子申請が使用可能。今後運転免許・印鑑登録・選挙

・災害等にも対応されると考えられる。

社会教育課

問 小学生県外体験の行先変更の理由は。

答 コロナ対応を考え費用面を考慮、陸続きで保護者負担の軽い九州・山陰山陽とした。

問 ユネスコ登録の徳山の盆踊りを町の活性化等に考えたかどうか。

答 伝統芸能の継承地、地域を学ぶようなツアーを計画していきたい。

総務課

問 電子入札の対象は。

答 工事関係と業務委託を対応する。物品入札は従来通り参集型となる。

問 地区集会所の修繕対応はどうか。

答 5年度は、要望の地区すべて対応予定である。

くらし環境課

問 斎場建設事業はどうなっているか。

答 5年度は基本設計を

行い、8年度には運用開始をしたいと考えている。

問 島田環境プラザへのごみ等の持ち込みはどんな状況か。

答 令和2年と比較し3年は81トンの減である。

議会事務局

問 議会だより充実のためページ数の増加、パソコンの更新も必要ではないか。

答 広報委員と協議して進めていく。パソコンも代替えを検討する。

特別会計(抜粋)

訪問看護事業特別会計

問 現在職員は何人で対応しているか。

答 2・5人よく工で対応している。

簡易水道事業会計

問 給水人口減で厳しい運営が予想されるが。

答 状況を見ながら適切な運営を心がけていく。

現地調査(現場に行って事業の確認等実施)

小河内川災害復旧工事現場



梅高中央線災害復旧工事現場



下泉河内川線災害現場にて



足間沢線災害復旧工事現場



第一・第二常任委員会審査報告

3月2日(木)審査・3月17日(金)可決
 常任委員会に付託された事件を審査、可決しました。

第一常任委員会

(議案第2号)

川根本町個人情報保護法施行
 条例の制定について

(議案第3号)

川根本町個人情報保護審査会
 条例の制定について

問 これまでの条例の規定・
 運用の相違による、施策上の
 不均衡や不整合等支障はあつ
 たか。

答 国の規定と同様のため、
 特に支障はなかった。

問 個人情報の漏洩が心配さ
 れる。

答 各機関で安全管理規定を
 設けて保護する。

問 会計年度任用職員等も職
 員同様に扱われるか。

答 組織全体として個人情報
 の取扱いに関する教育研修を
 実施していく。

(議案第5号)

川根本町国民健康保険条例
 の一部を改正する条例につい
 て

問 本町と比べて一人当たり
 の医療費が高額にもかかわらず
 保険税は低く抑えられてい
 る自治体があるが、どのよう
 な要因が考えられるか。

答 基金の充当によって保険
 税が抑えられていることは想
 定される。

問 他の医療制度には、保険
 料の事業者負担があるが、国
 保ではどうか。

答 国や県各自治体も応分の
 負担をしている。
 ※保険料が増額されることは
 苦渋の決断だと思いが、県内
 自治体の保険税が抑えられて
 いる要因を参考にしてほしい
 との意見があった。

討論

(反対)

保険料の増額は反対である。
 基金を取崩し年金受給者や子
 育て世帯の負担を軽くしてほ
 しい。

(賛成)

財政状況を鑑みれば保険料の
 改正は致し方ない。基金残高

や現況の中での対応であるた
 め最善の対応と考える。

採決

起立多数 原案通り可決。

第二常任委員会

(議案第4号)

川根本町南麓寮条例の制定に
 ついて

問 第3条の施設管理の一部
 を委託することができるとは。

答 委託としては、舎監や給
 食業務を想定している。

問 生徒の相談についての対
 応はどうなるのか。

答 他の寄宿舎と同様にコー
 ディネーターや相談員が対応
 をする。

討論

なし。

採決

起立全員 原案通り可決。



川根高校南麓寮

賛否が分かれた議案

議案番号	件名	中原 緑	中田 隆幸	中澤 莊也	中野 暉	野口 直次	大竹 勝子	石山 貴美夫	澤西 省司	藤田 至	中野 浩和	佐々木直也
議案第19号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第13号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第22号	令和5年度川根本町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第23号	令和5年度川根本町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第28号	令和5年度川根本町簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第29号	令和5年度川根本町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
請願第1号	補聴器購入への補助制度の創設を求める請願	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×
請願第2号	中川根第一小学校の全施設を町民が広く利用できる場所にすることを求める請願	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×

※杉山広充議長は、採決に加わりません。

請願審査

請願審査特別委員会に付託された2つの請願は、本年1月11日に審査、採決し、不採択となった。その後、3月14日に本会議にて委員会審査報告後、討論、採決し、不採択となった。

請願第1号

「補聴器購入への補助制度の創設を求める請願」

特別委員会

問 請願者は、補助対象者をどのように考えるか。
答 生活保護世帯や住民税非課税世帯などを対象と考えている。

問 「補助制度があれば、補聴器を購入するきっかけになる」というのはどういうことか

答 補聴器は、高齢者が交通事故や災害に合わないように補助する。補助制度があれば補聴器の購入が容易になり、購入のきっかけとなる。

問 助成額の補助割合をどう想定しているか。

答 長泉町は半額の補助で8万限度であるため、

当町でも同等の補助を想定している。

討論

なし。

本会議

討論

(賛成) 加齢による難聴は誰しも起こり、コミュニケーションが取れず疎外感から認知症になりやすい。装着後も調整や会話をフォローすれば政策的効果もある。全国154自治体が採択している。

(反対) 診断から調整・ケアの部分まで考えた補助の内容であれば賛成だが、請願書には触れられていない為反対である。

(賛成) 補助制度ができれば、より便利で豊かな生活へのきっかけづくりとなる。半分が高齢者の当町には早く必要な制度。

(反対) 検査をするのが先。全額出せでは、町として大変な事なので反対。

(賛成) 補助制度は、補聴器の使用で高齢者の社会参加や介護予防を促進し、介護者の負担軽減につながるため賛成。

(反対) 現時点では、補助制度の創設は請願内容の見直しが必要とし反対。

(賛成) 介護予防の推進や介護給付費削減につながる。願意の妥当性、実現の可能性・公益性から採択すべき。

(反対) 健康診断も必要。もっと精査をし、今一度検討が必要と感じて反対。

請願第2号

「中川根第一小学校の全施設を町民が広く利用できる場所にすることを求める請願」

特別委員会

問 町は検討委員会を設置し元北小学校を含む4校の利活用について検討することのだが、請願を出した理由は。

答 多くの署名をいただき、議員の賛同を得てから町に要望していく事が重要だと判断した。

問 町内の社会教育施設は不足していると思うか。
答 社会教育施設が足りないとは言えないが図書館がない町である。

討論

(反対) 行政側の説明は、検討委員会で町全体のことを考慮し、進めていくと認識した。委員会に委ねていきたい。

(賛成) 請願の趣旨や妥当性も含めて問題はない。検討委員会では、このよ

認識した中で、協議していく必要がある。

(反対) 他の学校施設も考えていく必要があり採択することで町を2分するような事も考えられる。

(賛成) 請願が出されたことは重大なことである。議会で採択されることが後押しとなる。

本会議

討論

(賛成) 町の将来を思い、郷土愛の結集としての請願であるので再考を願う賛成。

(反対) 検討委員会で町全体を考慮した検討がされ、施設の有効活用が提案されると思うので反対。

(賛成) 地域住民の意向を十分に尊重してほしいという切実な声で、何ら問題ない請願と考え賛成。

(反対) 請願の重み、内容、方法、検討を理解し、事の順番を考えるべきであり反対。

※採決の結果は、いずれも前頁の賛否表を参照(特別委員会も同結果)



第一小学校全景

議会が特に注目している4つのこと

新しい年度になりましたが、昨年度から引き続き考えていかなければならない問題が数多くあります。その中でも、議会として全員協議会等で特に議論が活発な4つのことについての現在の状況と今後の見通しをお伝えします。

②大井川鐵道について

台風15号の影響で家山～千頭の運行を休止している大井川鐵道。いつもあった「鉄道のある風景」が見えなくなって、寂しさや不安を感じる方も多いかと思います。現在は国・県が入って、今後の対策について協議しています。

【鉄道】令和5年3月22日に第1回「大井川鐵道本線沿線における公共交通のあり方検討会」の開催。

構成員は国、県、大井川鐵道、中部電力、島田市、川根本町の担当者。

令和5年12月末までを目途に今後の大井川鐵道の方向性について協議。

【バス】令和5年2月に大井川鐵道から「利用低迷につき、令和5年度からの代行バスについては継続不可」との通達。

鉄道がない今、町民の足としてバスは不可欠であるので、なるべく早い段階での町営バスの運行を計画しているが、関係機関との調整が完了するまでの間は引き続き代行バスの運行を依頼。赤字分を町からの補助金で補填。

5/8までは9便継続、5/9以降については6便に減便予定。

SL乗車の家山～千頭の観光客については大井川鐵道が予約制で運行予定。



全線復旧を望む声は多い

①台風15号災害について

災害復旧費

8億4,319万1千円

《林道》4路線5箇所について
《町道》5路線6箇所について
《河川》1河川について

令和4年9月に大きな被害をもたらした台風15号。令和5年度から本格的に復旧工事が始まります。

昨年度から大きく増えた予算のうち災害復旧予算は大きな割合を占めています。

災害復旧費については、激甚災害の認定により、大部分は国庫補助金にて補填される見込みになっています。

林道については6月から1月にかけて、町道、河川については10月から年度末にかけて復旧工事が行われる予定。（一部来年度へ繰り越し見込み）

合わせて、飲料水供給施設、簡易水道の復旧工事や、町道・林道の路面下の空洞調査や排水路の改修事業、孤立集落物資輸送の実証事業、より安定した水源確保のための事業など、災害対策の新規事業も多く予定されている。



予算特別委員会で現地視察をする議員

④し尿処理施設について

現在三ツ間地区にある町営のし尿処理施設「クリーンピュア川根」が経年による維持費が年々増加していることをうけ、町は今後の対応を検討しています。

川根本町し尿処理施設運営委員会の答申を受け、町はし尿処理の外部委託を令和7年4月から開始を目標に計画し進めている。

外部委託とする場合、災害時のことを考慮すると中継層が必要となるが、用地が未だ未確定である。

用地予定地の住民の理解を求めため、同程度の施設への住民の視察を3月に実施した。



今後の対応検討中の「グリーンピュア川根」

③学校施設の利活用について

令和4年度末で閉校になった「中川根第一小学校」「南部小学校」と令和5年度末で閉校予定の「本川根中学校」、平成18年に閉校した「北小学校」の4つの学校の施設の今後の利活用については、令和5年2月に委員会が設置され、協議がはじまりました。

令和5年2月24日に第1回「学校施設利活用検討委員会」開催。

構成員は町民から9名と、静岡銀行と島田掛川信用金庫から各1名、議会から澤西省司議員（第一常任委員会）、佐々木直也議員（第二常任委員会）の2名、合わせて13名。

第1回では委員の顔合わせと対象施設の概要説明が行われた。

令和5、6年度に各4回程度開催の計画。次回は6月頃に開催予定。



町内4施設の利活用を検討していく

《議員からの質問、意見、要望》

定例会や全員協議会など、議会と行政が議論する機会において、議員から質問、意見、要望が出ます。紙面の都合で一部のみの掲載ですが、多くの発言がありますのでぜひ傍聴にいらしてください。

①災害について

- ・金額には砂防などの構造物の工事費も含まれているのか。
- ・町内の危険箇所の割り出しをしてほしい。
- ・夢のつり橋の本復旧を急いでほしい。
- ・観光について、ネガティブな印象にならないように情報発信には気を付けてほしい。

②大井川鉄道について

- ・観光に関わる方が心配している。町として情報提供をしてほしい。
- ・バスについて、観光面と地域住民の足という面をしっかりと考えてほしい。
- ・町民の足として不便のないようにダイヤ等を考慮してほしい。
- ・国や県への陳情をお願いしたい。

③学校施設の利活用について

- ・議会選出委員について、当初依頼があったのは1名であった。議会内で協議する中で、第一、第二常任委員会から各1名選出するのが適当との意見があり、行政との協議の結果、議員選出委員が2名になった。

④し尿処理施設について

- ・大事な話なので、議員や町民に情報を伝えてほしい。
- ・中継槽案を進めていくのではなく、再検討の余地はないか。
- ・外部委託について、静岡市から内諾を得たとのことだが、市長が変わっても大丈夫か。



現役製茶機だが年式古く故障も多い…

いしやま きみお
石山 貴美夫
議員



閑散とした千頭駅…緊急宣伝活動を！

質問 大井川鐵道の影響。緊急観光宣伝活動を望む。

答え 影響は大。鉄道に依存しない誘客対策も必要

質問：見通しの立たない大井川鐵道、その影響と将来をどう見ているのか。復旧を要求すると同時に、落ち込む観光経済をどう盛り上げるのか。

町長：地域経済への影響は大きい。再開見通しの立たない中、鉄道に依存しない誘客、新規に「春夏秋冬」事業で誘客と賑わいを創出したい。

質問：夢のつり橋、湖上駅、温泉を更に盛り上げるアプローチをすべきでは。

観光商工課長：それらは重要な観光資源と認識している。泉質の良さをもっとPRし宿泊滞在を促進、ファミリー層、若年層にも温泉の良さをPRしたいと考えている。

利用者、観光施設利用者に対し、昨年好評の割引ポイントを提供し、経済活性化のため町内での購買・回遊に誘導したかどうか。

観光商工課長：そうした取組は必要と考える。連携して飲食・土産・買物につなげる取り組みをしたい。

(その他関連質問17問)

質問 新規、製茶機修理補助・定住補助の内容は。

答え 製茶機の長寿命化。住み続けたい町にしたい！

質問：これ以上茶工場を減らしてはならない。機械の故障は廃業のきっかけと危機感を訴えてきた。新年度創設の製茶機械修理費補助事業の内容は。また、要望過多への対応は。

町長：個人法人を問わず製茶機械修理費への補助をする。申請状況を踏まえ予算の追加も検討する。

農林課長：修理箇所、回数をおわず、一経営体年間百万を補助上限とした。

質問：移住定住から定住移住と言ひ換えた真意は何か。また、町を離れるきっかけ発生時に、引き留め効果のある住民補助を求めてきたが、新年度で補助事業を創設頂いた。要望が多い場合の対応は可能か。

町長：住む人が輝き、町を誇りに思い、戻りたいと思う町は、移住者にも選ばれる町と考え、「住み続けたい、ここで終えたいと思える町にしたい」という思いからである。

企画課長：それぞれのタイミングも踏まえ補助を考えた。予算が不足すれば考える。

(他に質問27問)



おお たけ かつ こ
大竹 勝子
議員



おいしい給食を作る学校給食センター



お客さんを待つ寸又峡プロムナート入口付近

質問 若者が移り住みたくなくなる町づくりを

答え 限りある財源をどこにどのよう使うか重要

質問：物価高騰の折り、保育料の無料化や学校給食費の無料化、18歳未満の子供に係る国保税の均等割りを廃止し子育てしやすい町にしそれを目玉に若い世代の定住・移住を促進する考えはないか。

町長：子育てしやすい環境づくりが大切であるという考えはあるが、当町のように財政規模が小さい町では限りある財源をどこにどのよう使うかが重要。現時点では保育料、給食費の無償化に関しては検討していない。

質問：移住を希望している方の居住促進に力を入れる考えは。

町長：来年度から定住・移住促進家賃・購入費補助金により空き家の活用を促進していく。

質問：地域食材を積極的に学校給食に用いようとする考えは。

町長：食材の衛生管理について納入者と学校給食管理者双方の共同認識で契約を結ぶ必要があり、安定的に確保できれば地域食材を取り入れる。

質問 寸又峡夢のつり橋周辺のバリアフリー化を

答え 高齢者や幼児等への配慮が必要

質問：夢のつり橋まで歩くのが大変で、途中で帰ってしまう子供連れやお年寄りがあると聞く。具合が悪くなり年に3、4人救急車で搬送される方がいるとのこと。環境にやさしい電気自動車で、送迎したらどうか。

町長：電動カーットの運用も試験的に実施したが、利用台数、乗車定員、運行速度等課題があり、継続的な実施に至っていない。

質問：町にある3台の電気自動車をあまり使用していないようなら寸又峡に回すことができないか。

総務課長：公用車として使用している。

質問：救急車で出られることが無いように、所々に休憩用のベンチや椅子に代わるものを置けないか。もう少し数多く休めるところがあると良いと思うがどうか。

観光商工課長：大きなポイントには座るところは配慮している。高齢者や幼児の方には、案内もしている。寸又峡の組合と協議をしていきたい。



国の観光推進計画と当町の魅力は相性がよい！

さ さ き な お や
佐々木 直也
議員



「音戯の郷」の再魅力化は価値が大きいのでは

質問

森林環境譲与税の活用で遊び場の実現を。

答え

検討の価値がある。前向きに考えていく。

質問：森林環境譲与税のまちづくりへの活用は。

町長：里山林整備、町内児童生徒への森林教育、人材育成、施設整備を考えている。

質問：「音戯の郷」の設備の故障が多く、更新できないものも多いと聞く。森林環境譲与税の活用を見込んで、木をベースと

した室内の遊び場、春夏

秋冬のイベントスペース

として、時間をかけて発展的に整備をしていくこ

とは、子育て、観光にとつてよい効果が期待できると思うがどうか。

町長：屋外に木で何かを作ることは耐久性等の問題があるので、施設内の整備はかなり検討価値が

あると思う。施設の規模や利用の仕方などの事例調査を行い、前向きに考えていきたい。

◎：「音戯の郷」は立地価値があると考えられる。森林環境譲与税を財源とすれば無理なく整備ができる。ぜひ実現に向けて前向きに検討いただきたい。

質問

川根本町の今後の観光ビジョンは。

答え

企画、情報発信等を戦略的に実施。

質問：大井川流域地域連携の今後のビジョンは。

町長：当町をはじめとする大井川流域に直接来訪していただくための施策と、情報発信に力を入れていく。

質問：観光庁が6年ぶりに改訂する方向でまとめた「観光立国推進基本計画」の内容は、川根本町

と相性がよいと思う。町が目指す観光戦略の方向性は国の計画と合致しているか。

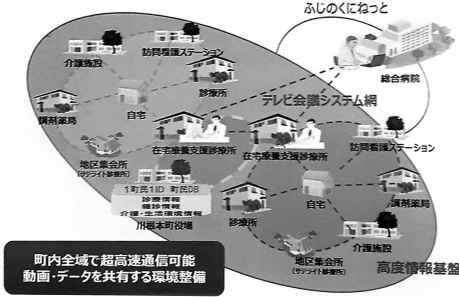
観光商工課長：観光庁の事業を民間企業が事業主体となり、町と連携し計画を策定したが、コロナ禍により実施はしていない。今後、当町の観光資源を活かしたアドベン

チャーリズムなどの事業に取り組んでいく。
質問：企画、運営、情報発信についてはよいが、もう一步踏み込んだ「おもてなし」についての考えは。
町長：必要であると認識しているため、今後者詰めていく。



なかざわ そうや
中澤 荘也
議員

バーチャル・ホスピタル構想



地域計画の目指す未来の農地の姿

質問 地域計画と並行して農振地域の見直しを

答え 地域計画策定後、農振地域の見直しを行う

質問：農林業の活性化をどのように図る考えか伺う。

計画など、国の方針に対応する形で、積極的に取り組む。

町長：庁舎内組織を改編し、農産物等の流通販売までを視野に入れた取組を進める。また、農林業者への起業支援、緑の食糧支援システム戦略や地域農業の将来のあり方を目標地図にしていく地域

質問：地域計画を作るに当たり、相続放棄等された土地の取り扱い、どのようにしていく考えか伺う。

農林課長：地域計画の目的は、耕作者、行政、関係機関が共通イメージや

認識を持って行くためのツールであり、そこまで踏み込んで考えていない。その後、個別に考えをしていくというような形になると推測する。
質問：地区計画と並行して農振地域の見直しを行う考えはあるか伺う。
農林課長：地域計画の策定を優先して行っていく。

質問 バーチャル・ホスピタル構想を実現するには

答え 県立総合病院、町内医師の合意形成が必要

質問：バーチャル・ホスピタル構想の現況と今後の取組み方について伺う。

質問：ふじのくにねっとを活用した県立総合病院等の遠隔診療体制の構築について、現況と課題、今後、医療機関等への支援をどのように行っていく考えであるかを伺う。

町長：バーチャル・ホスピタル構想の主要部分である遠隔診療は、現在、いやしの里診療所での対応のみとなっている。町内医療関係者内での情報・認識の共有、さらに合意形成を図ることが、ま

ず、必要だと考えている。
町長：遠隔診療については、いやしの里診療所と県立総合病院の間で音声

と映像によるビデオ会議システムを利用している。課題としては、県立総合病院との遠隔診療をいつまで継続していただけるかと考えている。医療機関等への支援は、町内の先生方の意見を伺いながら、必要な支援を行うとともに、町内医療体制の充実を検討していく。



町内に点在する公園（上岸区）



千頭駅前のトイレ



なか はら
中原
みどり
緑
議員

質問

運休し続けた場合の町民が受ける損失や影響は

答え

運休による地域経済への影響は大変大きい

質問：大井川鐵道は昭和初期から地域を支えてきた。現在も地域交通・観光振興の面で役割は重大で、運休し続けた場合の損失や影響について伺う。

町長：町内の宿泊、飲食やお土産販売など地域経済における影響は大変大きいと考える。

質問：R5年度観光費予算増額、事業ポイントは。

町長：年間を通じ「春夏秋冬のイベント」を実施し、賑わいを創出していく。

質問：千頭駅前トイレの改修工事の内容は。

観光商工課長：主にブース改修・壁面塗装・手洗器取替である。

質問：男子トイレ出入口が道路に面していて通路から中が見える。改善を。

観光商工課長：確認する。

質問：大鐵の災害復旧費における町の負担金が示されたら、応じる方向か。

町長：最終的にどうなっていくか、あり方検討会での話を注視していく。

質問：今後の進行については、署名活動で町全体の気持ちを表したいが。

町長：検討会での協議の動向を見ていきたい。

質問

若者の定住促進には、公園整備も重要では

答え

新たな公園整備について確認対応していく

質問：町内各地区にある遊具が区の協力の下、錆びが落され、ペンキで塗られきれいになった。しかし新しく利用する人が増えるなど、目に見える変化は起きなかった。

若い世代が定住してくれる町になる為には、子育てしやすい環境づくりが必要。町内には小さな

公園が点在しているが、若い世代からは子どもと半日から一日楽しめる規模の公園整備を求める声があるがどう考えるか。

町長：議員に何度もこの質問を承っている。子育て世代が必要な環境として安心・安全に遊べる公園を求めている声があることは承知している。町

は遊ぶ機会の充実、安心して遊べる遊び場・遊び場の提供として「遊び場マップ」を作成。R5、6年度には「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定予定で、その過程でいろいろな方々の意見を伺い、新たな公園整備について確認し、対応していく。



のぐち なおし
野口 直次
議員



被害を受けた町道水川藤川線



子育て支援施設こもれびの利用者のみなさん

質問 来年度に災害復旧等住民生活へのサポートを

答え 幾つかの宿題を何事にも全力で腰据えてやる

質問：台風15号の災害教訓として、被災現場巡回でも着用する職員の防災服に所属する課等の名称を明記してほしい。

総務課長：現在の防災服等は、川根本町という名前のみが記載されている。腕章またはビブス（ユニホーム）を作る形で検討したい。

質問：文沢地区の避難解除はいつごろになるか。又、避難場所で、動物も家族なので長期にわたる場合は、今後避難方法にも配慮をお願いしたい。

総務課長：県の農林事務所が発注する治山工事の状況を確認しながら、避難されている住民と協議を進めていく。

くらし環境課長：今回の避難先の町営住宅はペット禁止、空き家利用など、今後の検討課題として対応していきたい。

質問：移住者が定着できる継続的な支援について

町長：移住してからのアフターケアを考え、今後移住コーディネートと連携し、相談体制の充実に取り組む。受け入れ先のコミュニティも重要で様々の課題が出てくるが、移住される方の心構えも大事、地域の協力も定着へ不可欠な条件。新たに

専門窓口の定住・移住推進室を設置し、相談窓口を明確にして定住促進に取り組む。

企画課長：おおむね問題なく過ごされている中で、地域で行事等お声がけも必要、アンケートも定期的に取りながら、どのような悩みがあるか調査していきたい。

質問：物価高において、

家庭子供たちの支援策は、町長：国が全国一律に実施した住民税均等割の非

課税世帯や子育て世帯に対する給付金に加え、町独自の取り組み、燃料高騰対策支援事業やプレミアム商品券発行事業の実施してきた、今後についてもこれまで同様に、社会情勢の変化を見据えながら対応していく。

質問：主要産業の活性化において、地元の業種（製造業）に対して、支援強化を予算計上されているか。

観光商工課長：大きな支援強化の予定は計上していないが、商工会、関係機関と連携しながら、事業の維持継続に向け伴走型の支援を実施していく。また国・県の支援事業なども活用していきたい。（その他大鐵の復旧と代行バスについて）

議員定数等特別委員会
中間報告を致します

令和3年9月選挙は無投票となり、その折選挙活動等をせず、結果無投票当選となった件で大きな批判があり、当時、静岡新聞コラムでもこの件が取り上げられ町民の批判、定数見直等問題提起されました。同時期に区長連絡会より議長あて「議員の倫理観・信頼関係の醸成、町民の声の傾聴、定数検討等の要望」が提出され、これを受け議員5名による委員会が発足、以来10回の審議を重ねました。議員の倫理・モラル・議会改革・なり手不足問題・議会議論の深まり等々町政・行政全般に影響する事であり慎重な検討をしてきましたが、経過議論の内容を3月16日区長連絡会に対して中間報告を行い、ご意見の聞取りを行いました。

議論の経過では12名を減員する方向である事、同規模自治体議員との意見交換等から、挙げられた議員数減員のメリットは、①少人数となると意見がまとめやすい②議事も簡潔に済む③会議が短く効率的④経費が節減される⑤広域からの選出議員となる。

デメリットは①会議の議論が深まらない②馴れ合いに陥りやすい③行政とも馴れ合いになりやすい④質疑等もなくなる傾向で議会の役割が果たせない⑤行政への監視能力が落ちる等です。

また議会内の委員会や、行政の30近い委員会等へも委員として出席します。議員として出席した様々が、議会に附された様々な責務をどう果たすかは、今後の検討課題です。区長様方より頂いたご意見を元に、次回の委員会で、更に議論を深めてまいります。また、議員懇談会も計画し、一人でも多く

の町民の皆様のご意見をお伺いする考えです。なお、当委員会へのご意見は、いつでもお受け致しております。お電話ファックスお手紙等、町議会事務局、町議会議員、定数委員会委員長あてにどうぞお寄せください。

定数等委員会委員長
石山貴美夫

編集後記

40年前、友人たちに書いた手紙に、
「ポーッと汽笛が響く町に住んでいます」と
町の自慢をしたことを
思い出した。昨日のことのようだ。嫁は友人に、町の何を自慢するのだろうか。
新規事業が目白押し
の今年度の施策に目が
離せません。また自慢
がそこにも・・・。
中原緑



地域の方々は、駅周辺を四季折々の花々で整備しています。大井川鐵道の日も早い復旧を望んでいます。(崎平駅)

6月 定例会の 日程	6/1日	木	定例会本会議(9時～ 議場) 全員協議会(本会議終了後 大会議室)
	9日	金	定例会本会議(9時～ 議場) 全員協議会(本会議終了後 大会議室)
	21日	水	定例会本会議(9時～ 議場)

○議場・大会議室は、役場本庁3階です。 ○どなたでも傍聴できます。
○日程は変更することもありますので、詳しくは、議会事務局(56-2229)まで
お問い合わせください。
○新型コロナウイルス感染予防、拡大防止にご協力をお願いいたします。

ご意見・ご感想をお寄せください。

議会だよりに、読者の声を載せていきたいと考えています。「かわねほんちょう議会だより」の中で気になる記事や、議会に関することなど、町民の方からの声をお待ちしています。ご協力をおねがいします。
募集期間：随時

連絡先 TEL 0547-56-2229
FAX 0547-56-2235
Mail: gikai@town.kawanehon.lg.jp
(川根本町議会事務局)
郵送: 〒428-0313
静岡県榛原郡川根本町上長尾627
議会事務局内 広報委員会宛